

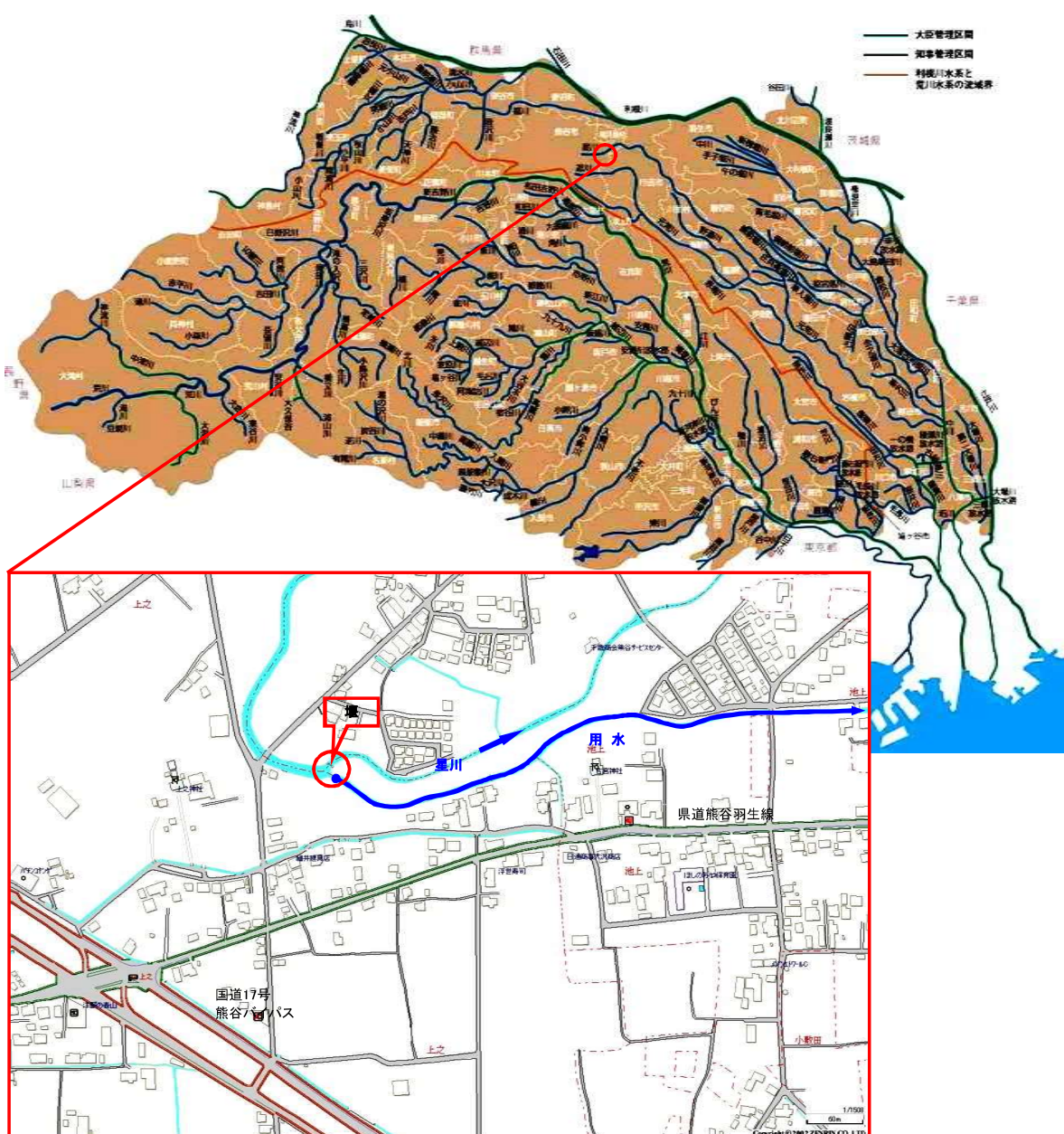
【 古 宮 堰 】

管 理 者	元荒川上流土地改良区	受益地域	熊谷市・行田市
-------	------------	------	---------

用 水 の 変 遷

建久年間(1190～1198)の頃、上星川における多量の湧水により当時の上之村、星宮村、星河村等の水田開発に伴って用水を引き込んだ事に始まる。昭和に入り、県営用排水幹線改良事業元荒川地区(T8～S12)による星川改修に伴い堰、取入口の新設を行った。しかし、荒川の河床低下により年々湧水量が少なくなり、取水に困難を来してきたため、昭和41年、用水沿いに地下水機場を新たに設け、用水の補給を行い現在に至る。

用 水 位 置 図



用水施設写真

古宮堰



熊谷市下川上地先

取水口

